

教科（科目）	芸術（音楽Ⅰ）	単位数	2単位	学年（コース）
使用教科書	教育芸術社『MOUSAⅠ』			1学年
副教材等	啓隆社『つどい 高校生の歌集』			

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

（2）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

（3）主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 指導の重点

- ・歌唱の授業を通し、正しい姿勢、豊かな声で、積極的に歌おうとする態度を育てる。
- ・器楽では、各楽器の特徴や奏法を学び、視奏力を伸ばす。
- ・様々な鑑賞を通して、声や楽器の特性と表現上の効果、楽曲の歴史的背景を学ばせるとともに、我が国の伝統音楽や世界の諸民族の音楽の種類と特徴について学習させる。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。また、自分なりに解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	・音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組んでいる。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。また、自分なりに解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	・音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組んでいる。
評価方法	以上の観点をふまえ ・実技テスト ・ワークシート ・授業の取り組み状況  などから評価する。	以上の観点をふまえ ・実技テスト ・ワークシート ・授業の取り組み状況  などから評価する。	以上の観点をふまえ ・実技テスト ・ワークシート ・授業の取り組み状況  などから評価する。

## 5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動	評価の 観点	評価方法
4	基本的な発声の仕方を踏まえながら、親しみやすい曲や諸外国の芸術歌曲に触れよう。	8 歌唱	・校歌 ・J-POP曲 ・諸外国の曲	・校歌を覚え、豊かな声で堂々と歌えるよう練習する。 ・多種多様な楽曲に触れ、歌うことの楽しさを実感する。	a c	実技テスト  授業の取り組み状況
5 6	ギターの基本的な奏法を覚え、演奏してみよう。	10 器楽	・基本的なスケール ・きらきら星	・ギターの基本的な奏法を理解する。 ・初歩的な曲を演奏したり、合奏したりする。	a c	実技テスト  授業の取り組み状況
6	節作りをしてみよう	4 創作	・五線譜	・4～8小節程度の節作りをする。	b c	作品提出  授業の取り組み状況
6	音楽映画の鑑賞を通じて、音楽と生活や社会とのかかわりを考えよう。	2 鑑賞	・ミュージカル映画	・映画から諸外国の歴史や文化を学ぶ。	b	ワークシート
7	ピアノの基本的な奏法を覚え、演奏してみよう。	7 器楽	・初歩的なピアノ曲	・鍵盤楽器の基礎的な奏法を習得する。	a c	実技テスト  授業の取り組み状況
9	ギターのコードを覚え、演奏してみよう。	5 器楽	・基本的なコード ・アメイジング・グレース 等	・コードを覚え、ストロークやアルペジオで演奏する。 ・曲の構成や曲想を把握し、表現を工夫する。	a c b	実技テスト 授業の取り組み状況  ワークシート
9 10	ハーモニーを感じながら合唱しよう。	8 歌唱	・合唱曲（2部か3部） ・親しみやすい斉唱曲	・それぞれのパートを聴きあいながら、豊かな声でハーモニーを作る。	b c	授業の取り組み状況
11	お気に入りの曲を紹介し、聴きあおう。	7 鑑賞	・プレゼンテーション	・ipadを用いてスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。 ・感想シートに記入する。	b c	授業の取り組み状況 発表態度 感想シート
12	ハンドベルの奏法を覚え、合奏しよう。	4 器楽	・クリスマス曲	・ハンドベルの奏法や音名を覚え、アンサンブルをする。	a c	実技テスト（演奏発表）  授業の取り組み状況
1	箏の基本的な奏法を覚え、日本音楽のよさを味わおう。	8 器楽	・さくらさくら ・ひな祭り 等	・箏の歴史や基本的な奏法を学び、演奏する。	a c	実技テスト  授業の取り組み状況

2	豊かな発声で音楽表現を工夫し、諸外国の曲や、合唱曲を歌おう。	5 歌唱	・諸外国の曲 ・合唱曲	・曲の構成や歌詞を自分なりに解釈して表現を深める。 ・他のパートを聴きあいながらハーモニーを作る。	a b c	実技テスト  授業の取り組み状況
3	音楽映画の鑑賞を通じて、音楽と生活や社会とのかかわりを考えよう。	2 鑑賞	・ミュージカル映画	・映画から諸外国の歴史や文化を学ぶ。	b	ワークシート

計70時間 (50分授業)

## 6 課題・提出物等

- ・歌唱と器楽では必ず実技テストを実施します。
- ・鑑賞や創作ではワークシートなどの提出があります。
- ・中間考査、期末考査でのペーパーテストは実施しません。

## 7 担当者からの一言

音楽の授業では、歌唱を中心に器楽、鑑賞をバランスよく学習していきます。世界には様々な文化、音楽があります。私たちの生活になくてはならない音楽を、様々な体験を通して知識、理解を深め、感性を高めていきましょう。

(担当：青木 睦子)

教科（科目）	芸術（音楽Ⅱ）	単位数	6単位	学年（コース）
使用教科書	高校音楽Ⅱ Music View（教育出版）			2学年 芸術コース
副教材等	つどい 高校生の歌集（啓隆社）、標準バイエル教則本（全音楽譜出版） Music Note（啓隆社）			

## 1 学習目標

音楽の諸活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けようとする。

（2）個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

（3）主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2 指導の重点

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てる。

- ・豊かな発声を身につけさせ、個性豊かで、積極性のある表現の育成を目指す。
- ・楽器に応じた奏法を習熟させ、曲の構成および曲想の把握と個性豊かな音楽の能力を高める。
- ・さまざまな鑑賞を通して、感性を磨き、主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

## 5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	歌唱 独唱 合唱	・ J-POP曲 ・ 諸外国の曲	・ 基本的な発声の練習をし、 様々な国やジャンルの歌に親しむ。	20	実技テスト  授業の取り組み状況
5	器楽 鍵盤楽器 楽典 鑑賞	・ 標準バイエル教則本 ・ Music Note ・ ミュージカル	・ 鍵盤楽器（ピアノ）演奏の基礎を学ぶ。 ・ 副教材を元に楽典の基礎を学ぶ。	22	実技テスト 楽典ノート 授業の取り組み状況
6	歌唱 合唱	・ 様々な合唱曲	・ 表現を工夫しながら歌唱することの楽しさを味わう。 ・ ハーモニーや各パートの響きに留意しながら歌う。	24	授業の取り組み状況
7	歌唱 独唱 合唱	・ 諸外国の芸術歌曲 ・ 混声3部合唱曲	・ 様々なジャンルの曲に親しむ ・ 学校行事で披露する曲に取り組む。	24	実技テスト 授業の取り組み状況
9	歌唱 合唱 器楽 鍵盤楽器	・ 混声3部合唱曲 ・ 標準バイエル教則本	・ 学校行事で披露する合唱曲の練習 ・ バイエルをすすめ、鍵盤楽器の基礎的な奏法を習得する。	24	実技テスト  授業の取り組み状況

10	歌唱 合唱	・混声3部合唱曲	・合唱曲の構成や曲想を把握し、表現を工夫する。 ・発表時の舞台効果を考える。	24	実技テスト 授業の取り組み状況  ワークシート
11	歌唱 合唱 創作	・合唱曲（2部か3部） ・ipad	・それぞれのパートを聴きあいながら、豊かな声でハーモニーを作る。 ・簡単なコード進行による曲の作成	24	授業の取り組み状況  作品課題の提出
12	歌唱 独唱 鑑賞	・日本歌曲、諸外国の芸術歌曲 ・ミュージカル鑑賞	・様々な独唱曲に親しむ。 ・感想シートに記入する。	20	授業の取り組み状況 感想シート
1	器楽 鍵盤楽器 楽典	・標準バイエル教則本  ・Music Note	・バイエルをすすめ、鍵盤楽器の基礎的な奏法を習得する。 ・副教材を元に楽典の基礎を学ぶ。	12	ノート提出  授業の取り組み状況
2	歌唱 合唱	・日本の唱歌、童謡	・福祉施設訪問で慰労演奏を行う。	12	実技テスト  授業の取り組み状況
3	器楽 和楽器	・小鼓	・講師を招き、和楽器の奏法と謡いを学ぶ。	4	実技テスト ワークシート 授業の取り組み状況

計210時間（50分授業）

#### 4 課題・提出物等

- ・歌唱と器楽では必ず実技テストを実施します。
- ・鑑賞や創作ではワークシートなどの提出があります。
- ・中間考査、期末考査でのペーパーテストは実施しません。

#### 5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解	知識・理解
音楽を愛好し、音や音楽に興味を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わうことができる。	音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取りながら、自分なりに工夫し、創造的な音楽活動ができる。	創造的な表現をするための発声や楽器の扱い・読譜力などの表現の技能を身につけ、個性豊かに表現している。	楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果、歴史的背景や文化的な背景に基づく音楽の特徴などを理解しそのよさや美しさを創造的に味わうことができる。
<p>以上の観点をふまえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技課題</li> <li>・ワークシート</li> <li>・授業の取り組み状況</li> </ul> <p>から総合的に評価する。</p>			

## 6 担当者からの一言

音楽は自ら積極的に取り組んでこそ楽しく、そして身に付くものです。1年間を通し、歌唱、鍵盤楽器、鑑賞を継続して行うこととなりますが、しっかりと学習し、力を付けましょう。様々な音楽体験から、音楽に対しての知識や理解を深め、ますます音楽の奥深さ、おもしろさ、すばらしさを感じてほしいと思います。

教科（科目）	ソルフェージュ	単位数	2単位	学年（コース）
使用教科書	高校音楽II Music View（教育出版）			2学年 芸術コース
副教材等	つどい 高校生の歌集（啓隆社）、Music Note（啓隆社） キミウタ（教育芸術社）			

1 学習目標

ソルフェージュに関する学習を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 個性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

2 指導の重点

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てる。

- ・豊かな発声を身につけさせ、個性豊かで、積極性のある表現の育成を目指す。
- ・楽器に応じた奏法を習熟させ、曲の構成および曲想の把握と個性豊かな音楽の能力を高める。
- ・さまざまな鑑賞を通して、感性を磨き、主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5 6	歌唱 独唱 合唱 聴音	・キミウタ ・五線ノート	・合唱曲集「キミウタ」を用い、合唱を通じて視奏の力を養う。 ・五線ノートを用いて、聴音を継続的に行う。 ・様々な国やジャンルの歌に親しみ歌唱の楽しさを味わう。	23	実技テスト（歌唱）  ノート提出  授業の取り組み状況
7 9 10 11	歌唱 合唱 器楽 鍵盤楽器 リコーダー 聴音 視奏 視唱	・Music Note ・混声3部合唱曲 ・キミウタ ・器楽曲 ・五線ノート	・学校行事で披露する曲に取り組む。 ・ピアノやリコーダーを用い、平易な曲の視奏を行う。 ・Music Noteのコールユーブンゲンを歌い、視唱の力を養う。 ・聴音を継続的に行う。	29	実技テスト（歌唱、器楽）  ノート提出  授業の取り組み状況
12 1 2	歌唱 合唱 楽典	・キミウタ ・五線ノート ・Music Note ・童謡、唱歌	・福祉施設での慰労演奏の曲を練習する。 ・キミウタを用い合唱曲を歌う。 ・Music Noteを用い、楽典	18	実技テスト（歌唱）  ノート提出

3	視唱 楽典	の基礎を学ぶ。 ・視唱、聴音を継続的に行う。	授業の取り組み 状況
---	----------	---------------------------	---------------

計70時間（50分授業）

#### 4 課題・提出物等

- ・歌唱と器楽では必ず実技テストを実施します。
- ・鑑賞や創作ではワークシートなどの提出があります。
- ・中間考査、期末考査でのペーパーテストは実施しません。

#### 5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
音楽を愛好し、音や音楽に興味を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わうことができる。	音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取りながら、自分なりに工夫し、創造的な音楽活動ができる。	創造的な表現をするための発声や楽器の扱い・読譜力などの表現の技能を身につけ、個性豊かに表現している。	楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果、歴史的背景や文化的な背景に基づく音楽の特徴などを理解しそのよさや美しさを創造的に味わうことができる。
<p>以上の観点をふまえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技テスト</li> <li>・ノート提出</li> <li>・授業の取り組み状況 から総合的に評価する。</li> </ul>			

#### 6 担当者からの一言

音楽は自ら積極的に取り組んでこそ楽しく、そして身に付くものです。1年間を通し、歌唱、鍵盤楽器、鑑賞を継続して行うことになっていきますが、しっかりと学習し、力を付けましょう。様々な音楽体験から、音楽に対する知識や理解を深め、ますます音楽の奥深さ、おもしろさ、すばらしさを感じてほしいと思います。



教科（科目）	芸術（音楽Ⅲ）	単位数	6単位	学年（コース）
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）			3学年 芸術コース
副教材等	つどい 高校生の歌集（啓隆社）、標準バイエル教則本（全音楽譜出版） Music Note（啓隆社）			

## 1 学習目標

音楽の諸活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けようとする。
- （2）音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
- （3）主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2 指導の重点

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てる。

- ・豊かな発声を身につけさせ、個性豊かで、積極性のある表現の育成を目指す。
- ・楽器に応じた奏法を習熟させ、曲の構成および曲想の把握と個性豊かな音楽の能力を高める。
- ・さまざまな鑑賞を通して、感性を磨き、主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

## 5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	歌唱 独唱 合唱	・様々な合唱曲 ・諸外国の曲	・豊かな発声を意識しながら、様々な国やジャンルの歌に親しむ。	20	実技テスト 授業の取り組み状況
5	器楽 鍵盤楽器 楽典 鑑賞	・標準バイエル教則本 ・Music Note ・ミュージカル	・鍵盤楽器（ピアノ）演奏の技術を学ぶ。 ・Music Noteを元に楽典の知識を学ぶ。	24	実技テスト 楽典ノート 授業の取り組み状況
6	独唱 合唱 器楽 鍵盤楽器 聴音	・日本歌曲 ・標準バイエル教則本	・歌詞を味わい表現を工夫しながら歌う。 ・バイエルを継続的に練習する。 聴音を継続的に行う。	24	実技テスト 授業の取り組み状況
7	歌唱 独唱 合唱	・諸外国の芸術歌曲 ・混声3部合唱曲	・様々なジャンルの曲に親しむ ・学校行事で披露する曲に取り組む。	24	実技テスト 授業の取り組み状況

9	歌唱 合唱 器楽 鍵盤楽器	・混声3部合唱曲 ・標準バイエル教則本	・学校行事で披露する合唱曲の練習 ・バイエルを継続的に練習する。	26	実技テスト 授業の取り組み状況
10	歌唱 合唱	・混声3部合唱曲	・合唱曲の構成や曲想を把握し、表現を工夫する。 ・発表時の進行や舞台効果を考える。	28	実技テスト 授業の取り組み状況 発表態度 ワークシート
11	歌唱 合唱 楽典	・合唱曲（2部か3部）	・福祉施設訪問で慰労演奏を行う。 ・Music Noteを用いて楽典課題に取り組む。	26	授業の取り組み状況 ・ノート提出
12	歌唱 独唱 鑑賞	・日本歌曲、諸外国の芸術歌曲 ・ミュージカル鑑賞 ・オペラ鑑賞	・様々な独唱曲に親しむ。 ・感想シートに記入する。	20	授業の取り組み状況 感想シート
1	歌唱 独唱 器楽 鍵盤楽器	・独唱曲 ・ピアノ曲	・演奏発表会を行う。	18	発表態度 授業の取り組み状況

計210時間（50分授業）

#### 4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱と器楽では必ず実技テストを実施します。</li> <li>・鑑賞や創作ではワークシートなどの提出があります。</li> <li>・中間考査、期末考査でのペーパーテストは実施しません。</li> </ul>
--

#### 5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
音楽を愛好し、音や音楽に興味を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わうことができる。	音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取りながら、自分なりに工夫し、創造的な音楽活動ができる。	創造的な表現をするための発声や楽器の扱い・読譜力などの表現の技能を身につけ、個性豊かに表現している。	楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果、歴史的背景や文化的な背景に基づく音楽の特徴などを理解しそのよさや美しさを創造的に味わうことができる。

以上の観点をつまみ、  
 ・実技課題  
 ・ワークシート、ノート提出  
 ・授業の取り組み状況 から総合的に評価する。

#### 6 担当者からの一言

音楽は自ら積極的に取り組んでこそ楽しく、そして身に付くものです。1年間を通し、歌唱、鍵盤楽器、鑑賞を継続して行うこととなりますが、しっかりと学習し、力を付けましょう。様々な音楽体験から、音楽に対しての知識や理解を深め、ますます音楽の奥深さ、おもしろさ、すばらしさを感じてほしいと思います。

令和4年度シラバス (芸術)

教科(科目)	美術 I	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	日本文教出版『高校生の美術1』				
副教材等	なし				

1 学習目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
---

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>造形の基礎・基本を土台として、感じたことを素直に表現できるようにする。</li> <li>生徒の興味関心を踏まえ、創造性や個性が発揮されるようにする。</li> <li>美術作品の鑑賞を通して美術作品や美術文化への興味関心及び理解を深める。</li> </ul>
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。</li> </ul>	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形の要素の働きを理解している。</li> <li>造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</li> <li>意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。</li> <li>表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。</li> <li>表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> </ul>	<p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提出された課題作品と毎時間の学習状況を踏まえて総合的に評価します</li> </ul>	<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提出された課題作品と毎時間の学習状況を踏まえて総合的に評価します</li> </ul>	<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提出された課題作品と毎時間の学習状況を踏まえて総合的に評価します</li> </ul>

## 5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観 点	評価方法
4	オリエンテーション	1 鑑賞	美術とは 何か	美術Ⅰの授業の進め方、取り組み方 などを理解する	a b	課題作品 振り返り
5	デッサン	20 絵画	視点と表 し方	木炭・鉛筆による明暗の表現、立体 を観察する力、描く力を理解する。	c	授業の取り組み
6	色彩構成演習	1 鑑賞	色彩	色彩の原理を理解し、適切な混色が できる。 テーマを意識してデザインをする。		
7		2 デザイン				
9	ポスターのデザ イン	1 鑑賞 14 デザイン	ポスター で伝える	色彩構成演習での学習からテーマ に沿ったポスターのデザインを考え 作成する	a b c	課題作品 振り返り 授業の取り組み
10	版画	1 鑑賞 14 デザイン	版で表す	・いろいろな版種を経験する。 ・凸版、凹版の違いを理解する。		
11						
12						
1	金属素材を用い た生活用品の制 作	1 鑑賞 15 デザイン	・暮らし の中の使 うデザイ ン	・素材を生かしたデザインを考え 造形に反映させる。	a b c	課題作品 振り返り 授業の取り組み
2						
3						

計70時間(50分授業)

## 6 課題・提出物等

・制作した課題作品と振り返りを、提出します。

## 7 担当者からの一言

なぜ私たちには五感があるのか。備わった感覚を十分に「使い、美術をとおして体や心の適切な使い方を身につけ、見方・考え方を学び、皆さん一人一人がより良く生きるために必要な力を育てましょう。

(担当：片桐 泰紀)

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	芸術(美術Ⅱ)	単位数	6	履修学年 (コース)	2学年 (芸術コース 美術)
使用教科書	美術2(光村)				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 指導の重点

- ・想像及び創造を重視した課題を設定し、個々の表現力が豊かになるように図る。
- ・自己、生活、人間、社会、自然などに関連して美術文化への洞察が深まるよう図る。
- ・美術作品や作者について多様な見方や考え方を理解し鑑賞できるよう図る。

## 3 指導計画

学期	考査	指導内容・教材	学習のねらい
1 学 期	中間 考査	A(4)色彩演習  B(2) デザイン 平面構成	・対象を見つめ、色彩を使って制作する。  ・色と形の組み合わせとバランスに配慮して構成する。
	期 末 考査	A(4)デザイン 視覚伝達デザイン 鑑賞 B(2) 陶芸(器など)	・視覚言語を活用して内容を伝達する。 ・表現したいテーマを決めて制作する。 ・デザインの視点を学ぶ。  ・用途に応じたデザインを考えて作る。
2 学 期	中間 考査	A(4) デザイン 視覚伝達デザイン 油彩(空想、人物、静物)  B(2) 土を用いたデザイン	・自分の思いが画面に現れるように根気強く制作を続ける。  ・用途に応じたデザインを考えて作る。
	期 末 考査	A(4) ユニバーサルデザイン  B(2) 土を用いたデザイン(たたらづくり) 容器、一輪挿し、オブジェなど	・ユニバーサルデザインの視点を学ぶ。  ・たたら板をいかした形を作る。
3 学 期	学 年 末 考査	A(4) デザイン実習、鑑賞  B(2) ペン画、本作り	・多様な視点で美術を捉える。  ・点の粗密によるグラデーション、白黒の配分による効果に気づく。 作りたい本を作る。

計 210 時間(50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

・授業中に制作した作品  
・スケッチ など

#### 5 評価の観点・規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを感じ取ることができる。	感性を働かせて、美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫できる。	創造的な表現をするために材料用具を生かし表現する技能を身につけている。	作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然との関連、美術の歴史などを理解し、そのよさや美しさを感じ取ることができる。

#### 6 評価方法

以上の観点をふまえ総合的に判断し評価する。提出作品だけでなく、毎時間の学習状況を踏まえた評価とする。

#### 7 担当者からの一言

美術はものを作ることを通していろいろな発見をする授業です。楽しく学び、工夫や想像を駆使して自分の持ち味を生かし、さらに自分自身の個性や可能性を高めてください。芸術コースでは時間数も多く、多様な内容となっています。いろいろなことに興味を持って挑戦する態度で美術を楽しんでください。

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	芸術(素描)	単位数	2	履修学年 (コース)	2学年 (芸術コース 美術)
使用教科書	基礎から身につくはじめてのデッサン(西東社)				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

素描の学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 指導の重点

- ・対象を自己の素直な目で深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序を確かめ、主体的に対象のイメージや空間、形体などを把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表し方を工夫し、表現する能力を高める。
- ・表現効果を高めるために、表現材料や用具についての特性を理解し表現意図に沿って表現材料や用具を様々な試用・工夫したりしながら、自分の表現技法を体得できる。
- ・それぞれの作品の主題と表現意図、形体や色彩、材質感などの描き表し方の工夫や表現材料の活用、効果等について考察し、作者の心情にまで触れることができる。

## 3 指導計画

学期	考査	指導内容・教材	学習のねらい
1 学期	中間考査	鉛筆、基礎的な形態の描写	<ul style="list-style-type: none"> <li>・濃淡の表現を学ぶ</li> <li>・基本的な立体をバランス良くデッサンすることができる</li> <li>・参考作品を鑑賞する</li> </ul>
	期末考査	基礎的な形態を組み合わせて描写 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な立体の組み合わせをバランス良くデッサンすることができる</li> <li>・参考作品を鑑賞する</li> </ul>
2 学期	中間考査	静物の描写 1 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立体や自然物をバランス良くデッサンすることができる</li> <li>・参考作品を鑑賞する</li> </ul>
	期末考査	静物の描写 2 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立体や自然物をバランス良くデッサンすることができる</li> <li>・参考作品を鑑賞する</li> </ul>
3 学期	中間考査	人物の描写 1 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物をバランス良くデッサンすることができる</li> <li>・参考作品を鑑賞する</li> </ul>
	期末考査	人物の描写 2 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物をバランス良くデッサンすることができる</li> <li>・参考作品を鑑賞する</li> </ul>

70時間(50分授業)

## 4 課題・提出物等

- ・授業中に制作した作品
- ・スケッチ など



## 5 評価の観点・規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを感じ取ることができる。	感性を働かせて、美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫できる。	創造的な表現をするために材料用具を生かし表現する技能を身につけている。	作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然との関連、美術の歴史などを理解し、そのよさや美しさを感じ取ることができるよ。

## 6 評価方法

以上の観点をふまえ総合的に判断し評価する。提出作品だけでなく、毎時間の学習状況を踏まえた評価とする。

## 7 担当者からの一言

素描は造形表現の基礎となる力をつける科目です。  
もの描写を通していろいろな発見をしながら工夫や想像を駆使して自分の持ち味を生かし、さらに自分自身の個性や可能性を高めてください。芸術コースでは時間数も多く、多様な内容となっています。いろいろなことに興味を持って挑戦する態度で美術を楽しんでください。

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	芸術(情報メディアデザイン)	単位数	2単位	履修学年 (コース)	3学年 (芸術コース)
使用教科書	After Effects モーショングラフィックス入門				
副教材等					

## 1 学習目標

2学年までに芸術科各科目で高めてきた表現技術や思考力・判断力を生かしながら協働作業を行うことにより、映像作品やインタラクティブな作品(例 WEB、アプリ)など総合的な表現の追及を通して答えの定まらない問題に対する考えとその表現を深める。

## 2 指導の重点

- ・メディア表現をとおして、答えの定まらない問題に意欲的・主体的に対し自らの解を客観的な視点を持ち表現しようとする態度を養う。
- ・ソフトウェアの特性を理解し、さまざまな題材について個性的・創造的表現を展開し、必要に応じて協働作業を適切に行うことができるようにしていく。
- ・情報メディアデザインが芸術や社会に果たす役割について理解を深める。

## 3 指導計画

学期	考查	指導内容・教材	学習のねらい
1 学 期	中間 考 査	映像編集	映像編集ソフト(Adobe Premiere)を使い、映像作成の基本を学ぶ。
	期末 考 査	映像概論 映像編集	鑑賞・シナリオ制作 After Effect を使い映像作成の応用を学ぶ。
2 学 期	中間 考 査	映像制作	Adobe Premiere と After Effect を使い、作品を制作する。
	期末 考 査	3D 作品制作 Web 編集 創作作品制作	3DCG、CAD ソフトの使用方法を学び作品を制作する。 WEB サイト編集ソフト(Dreamweaver)の使用方法を学び作品を制作する。 これまで学んだ技術を使い、作品を制作・発表する。

3 学 期	学 年 末 考 査	創作作品制作	これまで学んだ技術を使い作品を制作する。
-------------	-----------------------	--------	----------------------

70時間(50分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・授業で制作した作品
- ・制作プリント
- ・鑑賞プリント

#### 5 評価の観点・規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
メディア表現の創造的 活動の喜びを味わい、 コンピュータを使った 表現に関心をもって、 主体的に表現や鑑賞の 創造的活動に取り組ん でいる。	感性や想像力を働かせ て、主題を生成し、自ら の意図に基づいて構想 し、創造的な表現の構 想を練ることができる。	創造的なメディア表現 をするために、効果的 な表現の技能を身に付 け工夫して表してる。	メディア表現について幅 広く理解し、その価値 を考え、そのよさや美 しさを創造的に味わっ ている。

#### 6 評価方法

評価は、具体的に次のものを対象とする。

- ・提出された作品、公开发表
- ・作品制作時の制作プリント
- ・鑑賞作文
- ・学習活動への参加状況・態度

#### 7 担当者からの一言

情報メディアデザインの授業を通じて、自分自身の心の表現をさせたい。

情報メディアデザインの作品を作り出すおもしろさや、創造の喜び・社会と繋がる可能性を味わうことができるように、指導していきます。2D,3Dグラフィックソフトなど様々なソフトウェアを使用します。例(Adobe Creative Cloud、blenderなど)

## 令和4年度 シラバス [芸術]

科目	美術Ⅱ	単位数	2	履修学年 (コース)	3学年 (文理コース 美術)
使用教科書	美術2 (光村)				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。

## 2 指導の重点

- ・想像及び創造を重視した課題を設定し、個々の表現力が豊かになるように図る。
- ・自己、生活、人間、社会、自然などに関連して美術文化への洞察が深まるよう図る。
- ・美術作品や作者について多様な見方や考え方を理解し鑑賞できるよう図る。

## 3 指導計画

学期	考査	月	指導内容・教材	学習のねらい
1 学 期	中 間 考 査	4	・オリエンテーション ・自画像	・自分自身を見つめ、人物の特徴を捉えるとともに空間を意識する。 ・色と形の組み合わせを考える。 ・対象を見つめ、構造を理解して制作する。 ・立体の構造を工夫して作る。 ・目的を理解してデザインを決める。
		5		
	期 末 考 査	5	・彫塑 栄螺をつくる ・立体制作 (モデル)	
		6		
		7		
2 学 期	中 間 考 査	9	・立体制作 (実物) ・プレゼンポスター	・美しく仕上げる。 ・見やすくわかりやすいものにする。 ・銅版画技法の一つを理解制作する。 ・用途に応じたデザインを考えて作る。
		10		
	期 末 考 査	10	・銅版画：メゾチント (年賀状)	
		11		
		12		
3 学 期	学 年 末 考 査	1	・七宝作品制作	・素材の特性を理解して制作する。
		2		
		3		

計70時間 (50分授業)

## 4 課題・提出物等

- ・授業中に制作した作品
- ・スケッチ・プリント など

--

5 評価の観点・規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを感じ取ることができる。	感性を働かせて、美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫できる。	創造的な表現をするために材料用具を生かし表現する技能を身につけている。	作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然との関連、美術の歴史などを理解し、そのよさや美しさを感じ取ることができる。

6 評価方法

以上の観点をふまえ総合的に判断し評価する。提出作品だけでなく、毎時間の学習状況を踏まえた評価とする。

7 担当者からの一言

美術はものを作ることを通していろいろな発見をする授業です。  
楽しく学び、工夫や想像を駆使して自分の持ち味を生かし、さらに自分自身の個性や可能性を高めてください。

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	美術Ⅲ	単位数	6	履修学年 (コース)	3 学年 (芸術コース 美術)
使用教科書	美術 3(光村)				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 指導の重点

- ・想像及び創造を重視した課題を設定し、個性的で独創的な表現をめざす。
- ・総合的で持続した作品づくりと自己表現の深まりをめざす。
- ・美術文化の国際性や普遍性、同時に独自性についても理解が深まるように図る。

## 3 指導計画

学期	考査	指導内容・教材	学習のねらい
1 学 期	中間 考査	A(4) 視覚伝達デザイン 映像伝達デザイン ユニバーサルデザイン  B(2) 色彩演習	・映像とポスター等を制作する。 ・問題解決学習を行う。  ・アクリル絵の具で彩色する。 ・観察を基に特徴を捉え、立体感、量感を表現する。
	期末 考査	A(4) 視覚伝達デザイン 映像伝達デザイン ユニバーサルデザイン  B(2) 油彩(静物、人物、空想) 陶芸	・映像とポスター等を制作する。 ・問題解決学習を行う。  ・10号キャンバスに油彩を使って作品を制作する。
2 学 期	中間 考査	A(4) 卒業制作作品  B(2) 油彩(静物、人物、空想)	・卒業制作作品を制作する。 これまでの学習を生かし制作する。  ・抽象作品のよさを感じる。
	期末 考査	A(4) A(4) 卒業制作作品  メゾチント(小品)  B(2) 漆塗りの皿	・卒業制作作品を制作する。 これまでの学習を生かし制作する。 銅版画の一つの方法を理解制作する。  ・使うもの(ペン皿)を作る。

3 学 期	学 年 末 考 査	A(4) 卒業制作作品・鑑賞	・制作した作品を鑑賞する。 ・多様な視点で美術を捉える。
		B(2) 漆塗りの皿	・磨きをしっかりと行い仕上げる。

210時間(50分授業)

#### 4 課題・提出物等

作品等

#### 5 評価の観点・規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを感じ取ることができる。	感性を働かせて、美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫できる。	創造的な表現をするために材料用具を生かし表現する技能を身につけている。	作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然との関連、美術の歴史などを理解し、そのよさや美しさを感じ取ることができる。

#### 6 評価方法

以上の観点をふまえ総合的に判断し評価する。提出作品だけでなく、毎時間の学習状況を踏まえた評価とする。

#### 7 担当者からの一言

美術はものを作ることを通していろいろな発見をする授業です。楽しく学び、工夫や想像を駆使して自分の持ち味を生かし、さらに自分自身の個性や可能性を高めてください。芸術コースでは時間数も多く、多様な内容となっています。いろいろなことに興味を持って挑戦する態度で美術を楽しんでください。最後の学年、悔いの残らない積極的な活動を期待します。

## 令和4年度 シラバス(芸術)]

教科(科目)	芸術(書道 I)	単位数	2単位	履修学年(コース)	1学年
使用教科書	教育図書『書 I』				
副教材等	授業用プリント				

## 1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

## 2 指導の重点

- 鑑賞・・・日本や中国などにおける書道史(時代・風土・筆者)の理解
- 漢字の書・・・楷書、行書の古典に基づく多様な書風に触れ、表現技術と用筆・運筆の習得
- 篆刻・・・篆書の特徴・用筆の習得。篆書体の造形美を理解し、篆刻の面白さを味わう
- かなの書・・・かなの成立とかなの種類を学び、かなの用筆の理解と習得

## 3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書道の分野や書道で学習すること、小中学校の書写で学習した内容を理解している。古典に基づく基本的な用筆、運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫し、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	芸術科書道の学習に関心を持ち、漢字の書体の変遷やその背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。

## 4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	書道の分野や書道で学習すること、小中学校の書写で学習した内容を理解している。古典に基づく基本的な用筆、運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫し、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	芸術科書道の学習に関心を持ち、漢字の書体の変遷やその背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・制作ワークシート ・提出作品 ・授業へ態度、取り組みから総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・制作ワークシート ・提出作品 ・授業へ態度、取り組みから総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・制作ワークシート ・提出作品 ・鑑賞レポート ・授業へ態度、取り組みから総合的に評価します。



5 学習計画

月	時数	単元名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	13	○書に親しむ ○用具用材(文房四宝)について ○基本点画の練習	○書写と書道の違いを把握させる ○用具、用材について理解する ○筆を正しく使いこなせるようにする	c	ワークシート 授業の態度、取り組み
		○漢字の書 『楷書による学習』 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・牛橛造像記 ・顔氏家廟碑	○意欲的に制作に取り組む姿勢を育成する ○古典臨書の意義を理解する ○楷書の特徴を理解し、表現の技能を身につける	a b	ワークシート 提出作品 授業の態度、取り組み
6	15	○漢字の書 『行書による学習』 ・集王聖教序 ・蘭亭序 ・風信帖	○古典の鑑賞と臨書 ○行書の特徴を理解し、気脈・呼吸・変化を習得する ○毛筆の特性を生かした表現を習得する	a b	ワークシート 作品 授業の態度、取り組み
		○漢字の書 『隸書による学習』 ・曹全碑	○古典の鑑賞と臨書 ○隸書の特徴を理解し、表現の技能を身につける	a b	ワークシート 作品 授業の態度、取り組み
7 8 9	18	○篆刻の学習 『篆書による学習』 ・石鼓文 ・泰山刻石 ○篆刻	○篆書の特徴を理解し、印稿づくりに活かすことが出来るようにする ○意欲的に基本点画の練習に取り組み楷書との違いを見いだす ○文字調べ、印稿づくりを丁寧に行う ○集中力を維持して制作する	a b c	ワークシート 作品 授業の取り組み 鑑賞レポート
10 11		○文化祭作品制作 文化祭準備、名札書き	○半紙作品を押印、裏打ちすることで展示 作品として仕上げる	b c	作品 授業の取り組み 鑑賞レポート
12 1 2 3	9	○仮名の学習 『いろは歌』 単体・連綿・古筆(蓬萊切)の臨書	○日本独特の書の文化を理解する ○かなの成立と仮名の種類を理解する ○平仮名、変体仮名を理解する ○散らし書きの構成法を理解する	a b	ワークシート 作品 小テスト 授業の取り組み
		○漢字仮名交じりの書	○短い言葉で重厚と軽快な作風にかき分ける ○墨の潤滑、濃淡や、紙面構成に配慮して作品を制作する	a b	ワークシート 作品 授業の取り組み

計 70 時間(50 分授業)

## 6 課題・提出物等

- 単元あるいは毎時間ごとの清書作品
- 作品制作プリント(草稿等)
- 完成作品

## 7 担当者からの一言

これだけパソコンが普及した世の中であっても、今後必ず自分の手で字を書かなくてはならないことが数多くあります。例えば、履歴書、婚姻届、結婚式等の芳名張、お礼状など。

生活する中で迫られることとは別に、高校では芸術としての書表現を学んだわけですから、人に感動や喜びを与えたり、自分を表現する手段として、人に影響を持たせることの出来る物の一つに書道があるということを忘れないで欲しいと思います。

(担当:桑原 恭子)

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	芸術(書道Ⅱ)	単位数	6	履修学年 (コース)	2学年 (芸術コース 書道)
使用教科書	『書Ⅱ』教育図書				
副教材等					

## 1 学習目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 指導の重点

- ・意欲的に制作活動に取り組む姿勢を育てる。
- ・さまざまな書に触れることによって、鑑賞と表現の能力を高め、それらを創作に生かせるようにする。
- ・自らの思いや感動を表す語句を選び、表現のねらいをもちながら自己表現する力を育てる。

## 3 学習計画

月	時数	単元名	学習活動	評価方法
4 5	4 24	篆書の学習 甲骨文 金文 石鼓文書の変遷	中国と日本の書の変遷を理解する。 隸書が誕生した時代背景を理解する。 隸書の特徴を理解し、表現技法を習得し、臨書作品をつくる。	ワークシート 中間作品
		隸書の学習 木簡 乙英碑 石門頌 小篆	文字の成り立ちや、篆書の変遷を理解する。 篆書の特徴を理解し、表現技法を習得し、臨書作品をつくる。	提出作品
6 7 9	24 20 26	漢字作品制作 一字か二字 全紙作品	大筆を使い、全力で作品づくりに取り組む。 制作意図に合わせて表現を工夫する。	制作プリント 試作 まとめ作品 ワークシート
10 11	26 28	楷書の学習 楽毅論 孟法師碑	楷書の古典の多様な美しさを理解する。 楷書の特徴を理解し、表現技法を習得する。	ワークシート 中間作品 提出作品
		篆刻の学習	印稿作りを丁寧に工夫して作る。 集中力を維持して制作する。	
12	20	行書・草書の学習 書譜 祭姪文稿 自由作品制作 臨書作品 半切あるいは 全紙作品	行書、草書の成立の過程を理解する。 行書、草書の特徴を理解し、表現技法を習得する。 各自が選んだ古典を、深く味わい、集中力をもって取り組む。 字数は自由。	制作プリント 試作

1	8	字仮名交じり文) 全紙作品	作に取り組む。 制作した作品を鑑賞しあう。 正しく美しい字を書けるようにする。	まとめ作品
	8	硬筆		ノート提出
2	14	仮名の学習 高野切第一種 寸松庵色紙 実用書	仮名の誕生の歴史を学ぶ。仮名の変遷について 学び、優美な日本の伝統美を理解する。 日常生活における書を学ぶ。 生活の中へ積極的に書を取り入れる気持ちを育 てる。	ワークシート 中間作品 提出作品
				3

210時間(50分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・授業で制作した作品
- ・制作プリント
- ・鑑賞プリント

#### 5 評価規準と評価方法

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出された作品</li> <li>・作品制作時の制作プリント</li> <li>・鑑賞作文</li> <li>・学習活動への参加状況・態度</li> </ul> <p>などから、総合的に評価します。</p>			

#### 7 担当者からの一言

書道の授業を通じて、自分自身の心の表現をさせたい。  
書作品を作り出すおもしろさや、創造の喜びを味わうことができるように、指導していきたい。

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	芸術(探究書道)	単位数	2	履修学年 (コース)	2学年 (芸術コース 書道)
使用教科書	書Ⅱ 教育図書株式会社				
副教材等	新版応用ペン習字				

## 1 学習目標

伝統的な書の作品や現代の様々な芸術作品の鑑賞と表現方法を幅広く学び、それをもとに商業書道を含む各種の書の技法を身につけ、自己の表現に生かす資質や能力を育成する。

## 2 指導の重点

- ・書を愛好し、意欲的主体的に制作活動に取り組む態度を養う。
- ・文字を素材とした表現活動を中心とし、さまざまな題材について個性的・創造的表現を展開していく。
- ・自らの思いや感動を表す語句を選び、深く思考し、自己表現する力を育てる。

## 3 指導計画

月	時 数	単元名	学習活動(指導内容)	評価方法
4	14	漢字の誕生  日本と東アジアの書	漢字の誕生の歴史を知り、古代における漢字の意義について考える。 世界の様々な文字(漢字をはじめ、ハングル文字、サンスクリット、アラビア文字、ヒエログリフなど)を鑑賞させ漢字の持つ造形と表現性について理解させる。	・制作ワークシート ・提出された作品 ・学習活動への参加状況・態度
5 6	16	現代までの文字と書法の流れによる表現技法  自由制作作品 創作作品	(商業的な書表現を含む)さまざまな文字と書法を理解し表現する技術を高める。  自らの思いや感動を表現する語句を選び、表現方法を工夫し、作品を制作する。	・制作ワークシート ・提出された作品 ・学習活動への参加状況・態度
7 9	14	写経の学習	・小筆で細字の習得を目的とする。 ・書道芸術を通して東洋の伝統文化に対する理解を深める。	・制作ワークシート ・提出された作品 ・鑑賞作文 ・学習活動への参加状況・態度
10 11	16	硬筆の学習 用具・用材 漢字仮名交じりの書  (作品制作)	硬筆の用具・用材や姿勢・執筆について理解する。 短い言葉で重厚と軽快な作風に書き分ける 墨の潤滑や濃淡、紙面構成に配慮して作品を制作する	・応用ペン習字ノート  ・制作ワークシート ・提出された作品 ・学習活動への参加状況・態度

12	10	日常書と書式の学習	日常書やその書式を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作ワークシート</li> <li>・提出された作品</li> <li>・鑑賞作文</li> <li>・学習活動への参加状況・態度</li> </ul>
1		日常書の制作	様々な用具用材を用いて日常書を制作する。	
2				
3				

計70時間(50分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・授業で制作した作品
- ・制作ワークシート
- ・鑑賞作文

#### 5 評価規準と評価方法

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技法	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出された作品</li> <li>・制作ワークシート</li> <li>・鑑賞作文</li> <li>・応用ペン習字ノート</li> <li>・学習活動への参加状況・態度</li> </ul> <p>などから総合的に判断します。</p>			

#### 7 担当者からの一言

書道の授業を通じて、自分自身の心の表現をさせたい。  
書作品を作り出すおもしろさや、創造の喜びを味わうことができるように、指導していきたい。

## 令和4年度 シラバス[芸術]

科目	芸術(書道Ⅲ)	単位数	6	履修学年 (コース)	3学年 (芸術コース 書道)
使用教科書	『書Ⅲ』 教育図書				
副教材等					

## 1 学習目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 2 指導の重点

- ・書を愛好し、意欲的・主体的に制作活動に取り組む態度を養う。
- ・文字を素材とした表現活動を中心とし、さまざまな題材について個性的・創造的表現を展開していく。
- ・自らの思いや感動を表す語句を選び、深く思考し、自己表現する力を育てる。

## 3 指導計画

月	時数	指導内容・教材	学習のねらい	評価方法
4 5 6	8	篆書の学習 甲骨文	臨書や鑑賞を通じて、古典の持つ時代性や精神性への理解を深め、個性的、創造的な表現を工夫する。  2年次までの学習を踏まえ、さらに表現技法を深める。  自己の感興や意図を実現するために主体的に構想を具体化し、書体や書風、線質や全体の構想を工夫する。	ワークシート 中間作品 提出作品
	25	隸書の学習 礼器碑		
	24	開通褒斜道刻石		
	24	楷書の学習 龍門造像記		
		行書・草書の学習 喪乱帖		
7	26	行書・草書の学習 灌頂記 黄州寒食詩卷 自由制作作品 創作作品	空海、蘇東坡の書を臨書、鑑賞し個性的、創造的な表現を工夫する。  自らの思いや感動を表現する語句を選び、表現方法を工夫し、作品を制作する。 漢字一字か二字 全紙作品	ワークシート 中間作品 提出作品  制作プリント 試作 まとめ作品
9	29	楷書の学習 薦季直表 墨蹟の学習	2年次での楷書の学習を踏まえ、さらに楷書の特徴を理解し、表現技法を習得する。 墨蹟について知識を深め、多様な書の美を理解する。	ワークシート 中間作品 提出作品
10	26	郷土の書 良寛の書	良寛、会津八一の書を鑑賞し、その良さに気付く。	ワークシート 中間作品

11 12	30	会津八一の書 卒業制作作品 創作作品(漢字仮名 交じり文)	書かれている歌や言葉の内容を 理解する。 詩文から受けた感動をもとに表 現する。 自由に主体的に創作作品をつく る。 古典の臨書から習得した表現技 法をいかし、制作に取り組む。	提出作品 制作プリント 試作 まとめ作品
1	18	卒業制作作品 創作、臨書どちらで もよい  卒業制作展	作品の字数、大きさ、自由。 今までの学習を生かし、制作意 図を明確に持ちながら作品制作 する。 全力で高校生活最後の作品をつ くる。 制作した作品を鑑賞しあう。	制作プリント 試作 まとめ作品

210時間(50分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・授業で制作した作品
- ・制作プリント
- ・鑑賞プリント

#### 5 評価規準と評価方法

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技法	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜び を味わい、書の伝統と文 化に関心をもって、主体 的に表現や鑑賞の創造 的活動に取り組んでいる。	書表現の諸要素を感受 し、感性を働かせなが ら、自らの意図に基づい て構想し、表現を工夫し ている。	創造的な書表現をする ために、書の効果的な 表現の技能を身に付け 表している。	文字や書の伝統と文化 について幅広く理解し、 その価値を考え、書の よさや美しさを創造的に 味わっている。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出された作品</li> <li>・作品制作時の制作プリント</li> <li>・鑑賞作文</li> <li>・学習活動への参加状況・態度</li> </ul> <p>などから総合的に評価します。</p>			

#### 7 担当者からの一言

書道の授業を通じて、自分自身の心の表現をさせたい。  
書作品を作り出すおもしろさや、創造の喜びを味わうことができるように、指導していきたい。